

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
学籍番号	15S3001	院生氏名	荒添 美紀
通学キャンパス	東京青山キャンパス		
論文題目	認知症患者の退院をめぐる職種間連携での コミュニケーションギャップ		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文</p> <p>本研究の目的は、認知症患者の退院をめぐる職種間連携におけるコミュニケーションの困難さを軽減するために職種間のコミュニケーションギャップを明らかにすること、またコミュニケーションギャップを埋めていく為の示唆を得ることである。方法は、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、訪問看護師ら 18 名を対象にインタビューを行い、各職種 500 名、合計 2,500 名を対象にアンケートを実施し 401 名(回収率 16.0%)から回答を得た。その結果、コミュニケーションギャップを『情報ギャップ』、『認識ギャップ』、『感情ギャップ』に分類し、各ギャップを埋める方法を総合的に考察した。</p> <p>なお、本研究は、国際医療福祉大学倫理委員会の承認(16-Ig-84)を受けて実施しており倫理的問題はない。また、新奇性は職種間連携におけるコミュニケーションの困難さを、3つのコミュニケーションギャップに明確に分類したこと、それぞれが生じる背景を考察し改善する方法を提案したことにあり、高度な職種間連携が求められる地域包括ケアシステム構築の推進に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>審査会は1回開催し、初回審査で、主題、用語の定義、研究限界などについて論文の修正を求めたところ適切に修正された。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>各審査員からの指摘に適切に回答し、論文の修正内容についても適切に理解した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(介護福祉・ケアマネジメント学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 谷口 敬道</p> <p>副 査 佐藤 みつ子</p> <p>副 査 亀口 憲治</p>		